

会 告

# 一般社団法人日本形成外科学会専門医資格更新審査についての公示

2022年6月20日  
一般社団法人 日本形成外科学会  
理事長 森本 尚樹  
専門医生涯教育委員会  
委員長 野口 昌彦

日本形成外科学会は、2022年度専門医資格更新審査を日本形成外科学会形成外科領域専門医制度専門医生涯教育細則に基づき下記の要領で実施いたします。

なお、専門医資格更新のための学術研修会の各点数・単位等は日本形成外科学会形成外科領域専門医制度専門医生涯教育細則の別表に記載されております。

## 1. 専門医資格更新審査が必要な方

本年度専門医資格更新審査申請が必要な方は、a) 2018年4月1日に専門医更新を行った者、b) 2018年4月1日に専門医資格を取得した者（専門医番号の上2桁が17の者）、他以下のc) に該当する方です。

なお、詳細は日本形成外科学会形成外科領域専門医制度専門医生涯教育細則をご確認ください。

### a) 【2018年4月1日専門医資格更新者】

#### 2度目・3度目・4度目の更新対象者（敬称略）

青木 繁	青木 恵美	青木 律	赤田 美和	阿川かおり	浅井 笑子
浅井真太郎	浅田 裕司	浅野さおり	吾妻 隆久	安積 昌吾	安倍 吉郎
網倉 良安	新井 眞樹	新井 雪彦	荒田 順	有川 真生	有村 和子
安藤 太一	池田佳奈枝	池本 繁弘	伊吾田慎一	石井 啓子	石井 暢明
石垣 達也	石川 昌一	石河 利広	石崎 力久	石田 泰久	石原 康裕
市岡 滋	五影 志津	伊藤 史子	伊東 邦久	井上 唯史	井上 義一
猪原 康司	今泉 督	今村三希子	岩田 徹也	岩本 拓	岩山 隆憲
上田 晃子	上田 拓文	上野 輝夫	上原 英衣	植村 享裕	上村 哲司
植村 法子	薄葉 千絵	内田光智子	内山 佑美	梅澤 裕己	江浦 重義
大河内裕美	大澤 幸代	大澤沙由理	大瀧小百合	大槻 祐喜	大西早百合
大橋菜都子	大山 知樹	岡本 泰岳	小川 令	小熊 孝	奥村 慶之
奥本 隆行	奥山 典秀	長田 佳郎	小野寺剛慧	小幡 有史	小原 宏之
香川 広司	柿崎 桜	葛西 嘉亮	風間健太郎	檜山 和也	柏 英雄
片山 公介	片山 泰博	加藤 秀輝	加藤 摩衣	上村 百合	亀井 航
亀渕 克彦	茅野 修史	香山 武蔵	河合 勝也	河合建一郎	神田 憲吾
神田 則和	岸 慶太	貴島 顕二	北澤 義彦	北村 珠希	北村 理子
木下佳保里	木下 直志	木下 幹雄	木下 賀雄	木村眞之介	木村 直弘
清澤 智晴	草野 太郎	櫛田 哲史	倉片 優	蔵持 大介	栗田 智之
黒柳 美里	桑原 広昌	小池 幸子	小池 智之	香西 達一	河野 太郎
心石 隆史	後藤 孝浩	小原 直樹	小松 一成	権太 浩一	近藤 昭二

齋藤真理子	齋藤 利香	三枝 紀子	坂本 忠秀	櫻井 泉	笹尾 卓史
佐々木英悟	佐々木恵一	佐々木奈穂	佐々木真喜子	佐々木正浩	梶月 玲子
佐藤 精一	佐藤 雅秀	澤泉 雅之	澤田 彰史	山王 俊明	鳴原 康
茂原 健	柴 將人	柴田 裕達	庄野 文恵	白石 直人	白川真紀子
城田陽一朗	新名 法子	菅谷 文人	杉浦 謙介	杉本 孝之	杉本 一
杉山 成史	鈴木 沙知	鈴木 真澄	鈴木 裕一	角谷 貴子	関堂 充
瀬田 浩之	妹尾 貴矢	副島 一孝	外崎 登一	台蔵 晴久	平 広之
高須 啓之	高田 亜希	高田 聡	高田 徹	高橋 義雄	高原 寛
瀧川 恵美	田嶋 敏彦	田中 宏典	田邊 裕美	谷口和佳枝	知久 明義
張 学	陳 貴史	東野 哲志	塚本 金作	津下 到	辻野 一郎
常多 勝己	ド・ケルコフ麻衣子	當内 竜馬	遠野 久幸	遠山 哲彦	時吉 貴宏
徳井 琢	徳中 亮平	徳元 秀樹	徳山英二郎	戸澤 麻美	利根川 均
飛澤 泰友	富田 興一	富田 祥一	友枝 裕人	内藤 浩	永井 史緒
長尾 佳子	中川 宏治	中川由美子	仲野 雅之	中林 伸之	中山 真紀
中山 玲玲	名倉 直美	成島 三長	暇 宗久	西尾 優志	西関 修
西田 美穂	西村 礼司	西山 智広	新田 匡章	根守見菜子	野崎 愛
野中 大樹	野々村秀明	箱崎 美香	橋爪克光知	橋本 一郎	橋本麻衣子
長谷川宏美	長谷川祐基	長谷川叔子	畑 真貴	畑野 麻子	服部 亮
塙 陽子	濱本 有祐	原岡 剛一	原田 浩史	樋熊 有子	氷見 祐二
姫田 十二	廣川 詠子	廣富 浩一	深谷 佳孝	藤木 政英	藤田 和敏
藤原 英紀	藤村 淳	古川 雅祥	平敷 貴也	保坂 宗孝	堀 圭二郎
本間 幸恵	前田 拓	前田 拓摩	榎野 祥生	町野 千秋	松岡 保子
松下 祥子	松下 浩和	松峯 元	松本 和也	松本 佳隆	真名子英理
三浦千絵子	三木 綾子	三河内 明	水上 高秀	三橋 清	南本 俊之
宮内 律子	三宅 伸完	宮田 明人	宮村 卓	宮本 英治	宮本 慎平
宗内 巖	村井 繁廣	村石世志野	村松 英之	森 秀樹	森 弘樹
森岡 大地	森島 容子	森久陽一郎	矢沢 真子	矢沢 慶史	安居 剛
八杉 悠	安田 聖人	柳林 聡	矢吹雄一郎	矢部 哲司	山内 大輔
山内 誠	山岡 尚世	山川 知巳	八卷 隆	山崎 和紀	山崎民千明
山下雄太郎	山田 大	山田 哲郎	山田 雅道	山中 清孝	山中 浩気
山本 改	山本 崇	山本 雅之	横川 秀樹	横山 才也	吉岡 直人
吉田 周平	吉田 聖	吉田 哲也	吉竹 俊裕	吉種 克之	吉積 佳世
四ッ柳高敏	梁 淑姫	呂 秀彦	脇村 祐輝	和田 充弘	渡辺あずさ
渡部紀久子	渡邊 彰二	渡辺スヨン	渡部 隆博	渡邊 義輝	

b) 【2018年4月1日専門医資格取得者】

1 度目の更新対象者 (敬称略)

東 修智	井川 祐一	石井 浩子	伊藤 悠介	伊藤 梨里	井上 真衣
今井裕季子	植木健太郎	上野 一樹	梅田 剛	梅原 康次	江草 豪
大岩 宏維	大郷真理子	大島 遥	萩島 信也	長 渚	刑部 瑤子
角谷 聡	梶田 大樹	門 真起子	金山 幸司	金子 愛	荻部 淳
川野 啓成	川村 亮	神戸 未来	木内 智喜	北 幸紘	北川 敬之
北口 陽平	北田 文華	北野 豊明	榊原 倫子	久保あゆみ	倉本 康世
桑原 郁	毛山 剛	小坂健太郎	森 真理	小林 尚史	坂井 香
崎尾 怜子	澤良木詠一	品岡 玲	島内 香江	白壁 聖亜	新行内芳明

杉井 政澄	筋師 優佳	鈴木 彩馨	須磨 敬司	関 謙太郎	関山 琢也
外崎 麻里	高須 未織	竹村 朋子	田崎 紘之	田中 克弥	塚本 博和
十九浦礼子	出口 綾香	富永 真以	中尾 仁美	中西 崇詞	仲野 孝史
長野 寿人	中村友季恵	中村 亮太	中山 瑛子	西岡 宏	西寫 暁生
西村恵里子	沼畑 岳央	能登まり子	延 美緒	長谷川弘毅	濱田茉莉子
浜永真由子	早坂 李枝	林 伸子	福田 萌恵	星野 夕紀	堀 弘憲
牧本 和彦	柵木 千尋	松本絵里奈	松本 典子	松本 紘子	三羽 英之
嶺尾 万莉	宮嶋 尊則	村井 信幸	最上真理子	森田 愛	安岡 裕司
矢野亜希子	山内 崇史	山田 啓太	結城 美佳	吉田 光徳	吉武光太郎
渡邊 浩志					

c) 2020年・2021年度の資格更新審査において不合格となった者、資格更新の留保未承認となった者、専門医資格更新申請未提出者および留保期間が切れた者

## 2. 専門医資格更新申請の方法

従前より告知していたとおり、昨年度より日本専門医機構による専門医更新のみとなり、「学会専門医」としての更新を行うことはできなくなりましたのでご注意ください。

### ■必要単位・点数

項目	機構認定専門医更新基準
	取得単位
i) 診療実績の証明	100 症例 10 単位
ii) 専門医共通講習	最小 3 単位 最大 10 単位 (うち必修講習 3 単位以上)
iii) 形成外科領域講習	最小 15 単位 最大 31 単位
iv) 学術業績および診療以外の活動業績	最小 6 単位 最大 15 単位 (学術集会参加実績は 6 単位まで)
基準合計単位数	50 単位

### ■更新基準および提出書類

#### ①勤務実態の自己申告（必須）

勤務実態を証明する「**自己申告書**」として提出してください。勤務形態については、直近1年間の実態を記載してください。申告が実態と一致しているか否かについて勤務実態を検証することがあります。

#### ②診療実績の証明（必須）

5年間の診療実績の報告として、**形成外科診療実績記録**を提出してください。また、その間に経験した症例の中から以下のAとB合わせて100症例を記載して提出ください。AのみあるいはBのみでも可とします。

##### A. 形成外科領域の手術実績により診療実績を示す場合

形成外科領域において、5年間に術者あるいは指導者として執刀した症例を**手術症例一覧表**に記載して提出してください。

B. 症例一覧の提示により診療実績を示す場合

5年間に診療した症例について、**症例一覧表**に、診療日時、病名、治療法、転帰、診療施設名、責任者氏名（印）を記載して提出してください。

上記の各項目については、下記の③のi)の更新単位として算定します。ただし、専門医更新（学会専門医での更新を含む）をすでに3回以上されている申請者においては診療実績100症例の提出は免除されます。

③更新単位 50単位（必須）

形成外科機構認定専門医資格更新に必要な単位の算定は上記に示したi)～iv)の4項目の合計で行い、これを資格更新のための基準とします。

i) 診療実績の証明（10単位）

②の診療実績の証明で提出されたものをそのまま10単位（10症例/単位）として算定します。すなわち100症例の記録提出を10単位と算定します。**単位集計表**に記載してください。

ii) 専門医共通講習（最小3単位、最大10単位：必修講習3単位以上）

形成外科機構認定専門医のみでなく、すべての基本領域における機構認定専門医が共通して受講する項目です。専門研修施設群のいずれかの施設が開催するもの（2018年3月31日までの開催分に限る）、または各領域で正式に認められた講習会（例：各領域の学術集会や地方会における講習会、地域の医師会が主催する講習会など）とします。他の基本領域で正式に認められた専門医共通講習も単位として算定することが可能です（例：皮膚科学会認定の専門医共通講習など）。1回の講習は1時間以上とし、1時間の講習受講をもって1単位と算定します。E-learningについても、受講を証明できるならば単位として認めることができます。また、講習会講師を担当した場合は担当した講習について2単位を付与します。

なお、営利団体が主催・共催・後援するセミナー等は原則としてこれに含めないことにします。紙媒体の受講証明書については、会員マイページからアップロードいただくことを推奨しております。

- a. **日本形成外科学会で正式に認められた共通講習**：日本形成外科学会で発行されたもの  
※ 2019年4月以降、カード決済により受講された先生におかれましては、「会員マイページ～専門医」より受講確認が可能です。
- b. **医師会が主催する共通講習**：主催医師会名の明記されているもの。原則として、都道府県医師会が主催する講習会は日本医師会で審査・認定し、地域医師会などが開催する講習会の取り扱いは、日本医師会が発出する実施要綱に従ってください。
- c. **その他団体が主催する共通講習**：主催団体名、講習名の明記されているもの（2018年4月より下記講習が承認）
  - ・日本医療機能評価機構（地域フォーラム、全体フォーラム）：医療安全講習
  - ・臨床試験医師養成協議会：医療倫理講習
- d. **他の基本領域で認定されている共通講習等**：単位認定した基本領域名の明記されているもの
- e. **専門研修施設群（学会の認定研修施設および教育関連施設を含む）が開催する共通講習**：
  - ・2018年4月1日以降に開催された講習…日本専門医機構の承認があることが分かるもの（単位付与には日本専門医機構の承認が必要。施設の講習主催者にご確認ください）
  - ・2018年3月31日以前に開催された講習…開催後主催者が発行した証明書（開催前申請は不要。証明書には、講習内容、日時、施設公印を要する）以下URLより専門医共通講習受講証明書のひな型をお使いください。

[http://www.jsprs.or.jp/specialist/shorui/doc/koshu\\_shinsei/m\\_format.docx](http://www.jsprs.or.jp/specialist/shorui/doc/koshu_shinsei/m_format.docx)

これらの単位については、必須取得単位や項目別の最大単位をよく確認のうえ、前述の**単位集計表**にも記載してください。

以下に専門医共通講習に該当するものを示します。

- ・医療安全（必修項目：5年間に1単位以上）
- ・感染対策（必修項目：5年間に1単位以上）
- ・医療倫理（必修項目：5年間に1単位以上）※臨床倫理，研究倫理，生命倫理を含む
- ・医療制度と法律
- ・地域医療
- ・医療福祉制度
- ・医療経済（保険医療に関するものを含む）
- ・両立支援（治療と仕事）
- ・臨床研究/臨床試験
- ・災害医療

※指導医講習については2018年より「形成外科領域講習」に含むことになりました。ただし2017年度以前に行った指導医講習は共通講習として認められます。

iii) 診療領域別講習（最小15単位，最大31単位）

日本形成外科学会が定める講習会等で取得する単位です。専門医が最新の知識や技能を身につけるために必要な講習等への参加を目的としています。これらの講習会は日本形成外科学会総会・学術集会，基礎学術集会，各地区の形成外科学会学術集会，形成外科のサブスペシャリティ学会等において開催され，受講者は受講証明書（提出用）を受講時に提出し，受講証明書（受講者控え）を保存しておく必要があります。紙媒体の受講証明書については，会員マイページからアップロードいただくことを推奨しております。

専門医共通講習と同様，1回の講習は1時間以上とし，1時間の講習受講をもって1単位と算定します。また講習会講師を担当した場合は担当した講習について2単位を付与します。営利団体が主催するセミナー等は原則としてこれに含めないことにしますが，共催のセミナーについては，開催に先立って日本形成外科学会専門医生涯教育委員会で審議し，機構によって承認されたものについては算定できるものとします。

2017年度より，学会が受講として適切であると認定した場合は，ワークショップやシンポジウムなどの聴講も単位に含めることができます。この場合の認定単位は1時間以上2時間未満には1単位，2時間以上のものには2単位を付与します。

\* E-learning についても，受講を証明できるならば単位として認めることができます。共通講習における E-learning に関しては，日本専門医機構のホームページにある共通講習での受講を推奨します。

iv) 学術業績および診療以外の活動実績（最小6単位，最大15単位）

算定可能な単位については，資格更新のための学術業績基準一覧表で確認してください。

(A) 学術集会出席

ただし，学術集会（地方会を含む）への参加実績は最大6単位までの算定です。

日本形成外科学会総会・学術集会，基礎学術集会	3 単位
各地区の形成外科学会学術集会， 形成外科のサブスペシャリティ学会，国際学会等として認定された学会	2 単位
その他形成外科学会に認定された学会および研究会	1 単位

**形成外科領域学術業績等記録**に必要事項を記入し，**形成外科領域学術業績等証明書貼付台紙**にそれぞれの参加証明書を貼付し，コピーしたものを提出してください。

(B) 学術集会発表, 司会・座長

単位一覧表に記載された学会等における筆頭演者および第一共同演者としての学術発表, 司会・座長についても1単位が付与されます。学会抄録集の表紙および該当ページの写しを添えて提出してください。

(C) 論文

形成外科領域に関する査読を受けた学術論文について, 筆頭著者は2単位, 共著者は1単位が付与されます。対象となる学術誌は定期刊行され, 日本形成外科学会の認定を受けているものに限ります。論文の写しまたは別刷を添えて提出してください。

認定された学会における筆頭演者および第一共同演者としての		
	学術発表・司会・座長	1単位
形成外科領域に関する査読を受けた学術論文	筆頭著者	2単位
	共著者	1単位

このほかに, 下記の (D) ~ (H) においても単位が付与されますので, ご確認ください。

(D) 日本形成外科学会の認定を受けている学術雑誌の査読を行った場合には1論文につき1単位を付与します。査読の依頼状と査読結果の写しを添えて提出してください。

(E) 専門医試験問題作成, 試験委員・監督など専門医試験に関する業務に携わった場合, 1年度につき1単位を付与します。委員としての委嘱状のコピーを提出してください。

(F) 地域・学校等で市民啓発目的の講演を行った場合, 約60分で1単位(上限回数制限なし)算定します。

(G) 校医を1年以上務めた場合, 2単位(5年間で上限2単位)算定します。

(H) 学会推薦による日本医療安全調査機構の医療事故調査制度における外部委員として活動を行った場合, 1年度につき下記単位を付与します。日本医療安全調査機構より認定証が発行されますので, それを証明書とします。コピーをご提出ください。

- ・委員長として報告書作成 3単位
- ・委員として調査委員会へ参加 2単位
- ・報告書査読等, 調査へ協力 1単位

これらの単位については, すべての項目において最低単位はクリアしたうえで, 総単位数算定の際は最大単位数内で加算を行い, 総単位数が50となるように前述の単位集計表にも記載してください。

### 3. 連続して3回以上の更新を経た専門医への対応

連続して3回以上の更新を経た専門医は診療実績の証明を更新要件から免除されることになっております。すなわち, 本年度においては, 新基準単位数は診療実績10単位が免除されて, 必要単位数は40単位となります。ただし, 形成外科診療実績記録(様式3)の提出は必須となります。

### 4. 会員カードを利用した受講記録の提出方法について

会員カードを用いた講習履歴は, 会員マイページに反映されます。このデータはご自身の会員マイページからPDFで出力が可能になっております。また, 会員マイページからお手元の紙の受講証の控えをアップロードいただくことを推奨しております。

なお, 現在会員マイページから更新申請が行えるようにシステムを構築中です。詳細は11月に更新申請者宛てに送付する手引きでご案内します。

## 5. 申請手続き方法

- a. 学会事務局より該当者へは11月中旬ごろ手引きを送付いたしますが、お手元に届かない場合、また、昨年度（2022年1月）に学会の専門医更新を申請し、2022年4月からの専門医更新をしている方で、本年度に専門医機構更新を希望する方は下記の請求期間内に書面にて請求をしてください。なお、請求書面には『専門医資格更新手引請求』と朱書きしてください。

＜請求期間＞ 2022年12月1日～12月15日

- b. **更新審査料 30,000 円**（登録料 10,000 円を含む）：郵便振替口座へ振込んでください。また、審査料を納入したことが分かる証明書のコピーを同封してください。

- c. 書類提出期間

**2022年12月1日（木）～2023年1月15日（日）【消印有効】**

現在会員マイページから更新申請が行えるようにシステムを構築中です。詳細は11月に更新申請者宛てに送付する手引きでご案内します。

- d. 提出先

〒169-0072 東京都新宿区大久保 2-4-12 新宿ラムダックスビル 9 階  
一般社団法人日本形成外科学会 専門医生涯教育委員会 宛

## 6. 専門医更新審査の時期と結果通知について

2023年1月下旬～2月初旬に実施。審査結果は、機構認定専門医においては、専門医生涯教育委員会での審査報告をもって専門医機構が資格を認定、登録後、認定証を交付します。